

寄居町の今とこれから 一般質問

12月定例会の一般質問には、7名の議員が登壇しました。
質問項目と内容(抜粋)をお知らせします。

この項目について町の考えを聞きました

事業・施策

役場組織の強化について(峯岸議員) → P.12
役場庁舎駐車場の拡張(原口昇議員)

環境・農業

節電対策について(佐藤議員)
遊休農地解消に向けての一方策(大久保幸議員) → P.12

子ども

放射性物質による汚染問題の実施調査(神田議員) → P.10
放射能から子どもを守ること(田母神議員) → P.11
児童虐待防止対策について(鈴木議員)

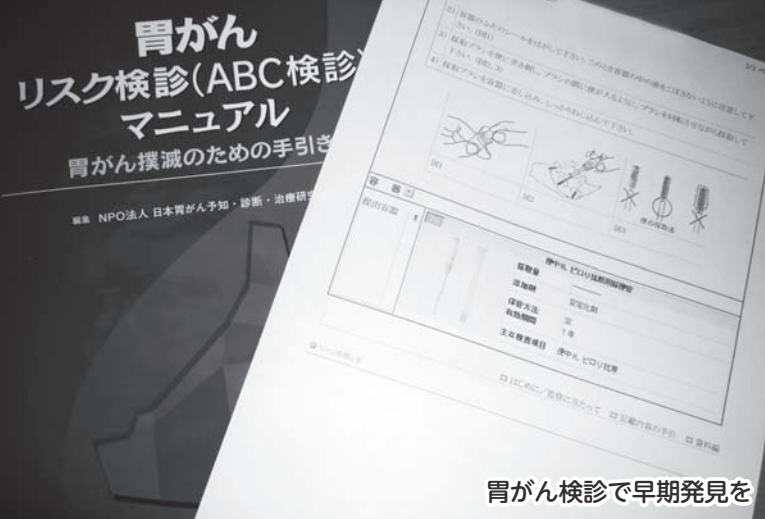
健康・福祉

子宮頸がん検診の状況について(神田議員)
がん検診無料クーポン券配布(佐藤議員) → P.11
新型インフルエンザに対する対応(大久保幸議員)
認知症予防対策について(鈴木議員) → P.13
生活保護受給について(原口昇議員) → P.13

高齢者

75歳以上の医療費無料化の取り組み(田母神議員)
介護支援ボランティアポイント制度導入(佐藤議員)

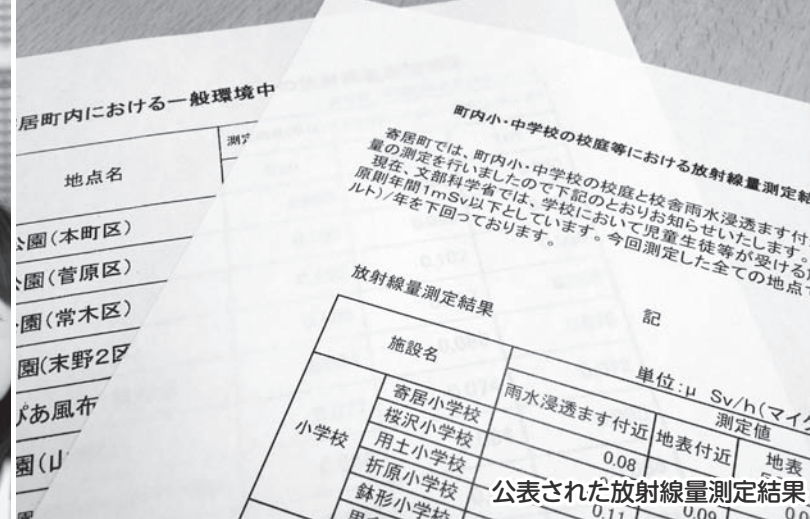
※1人1項目を要約して掲載しています。
全文は、会議録をごらんください。
会議録は印刷でき次第、町立図書館で読むことができます。



胃がん検診で早期発見を



子どもたちの笑顔のために



より詳細な調査 及び結果の公表を

答弁⇒ 必要に応じた調査を定期的、継続的にを行います



かん だ たかし
神田 崇
議員

問 現在当町では、小中学校及び保育所の校庭、園庭における放射線量調査が行われてはいますが、十分な調査状況であるとは思えません。より高度な測定器等を購入し、細部にわたる計測をする考えはありますか。

答 空間放射線量の測定に向くシンチレーション式の放射線量測定器を購入するための予算を計上。導入後は、県など関係機関による調査結果を注視し、合理的な検証を進め、必要に応じた調査を定期的、継続的にを行います。

学校給食の食材は安心ですか

問 最も危惧する懸案として、汚染食物による内部被曝がありますが、学校給食の食材の検査等を実施し、公表する考えはありますか。

答 学校給食の食品については、国や各県の検査が行われ、規制値を超える食材は出荷が制限されています。11月より食材の産地情報を町のホームページに掲載するなどしていますので、現状では、食材の放射性物質検査は考えていません。

問 報道では、国や関係機関の検査体制が十分とは到底思えません。また、日本の乳児の飲み物の暫定基準値は100ベクレルとなっていますが、国際法では原発からの排水の数値が90ベクレルという状況を考えてとき、適当であるとお考えですか。

答 県では数多くの品目の検査を行っており、規制値を超える食材については、出荷制限されています。今後も情報の収集や産地を確認し、地産地消を基本に学校給食の安全に努めます。

放射線量調査

胃がん検診の 無料クーポン券配布は

答弁⇒ 現段階では考えておりません



さいとう りみ
佐藤理美
議員

問 我が国では2人に1人が、がんを発症する「がん大国」です。2009年度にスタートした女性特有のがん検診無料クーポン券配布により、検診受診率が大幅に向上しました。また、急速に増加しているがんの1つが大腸がんです。今年度、40歳から5歳刻みに60歳までの方を対象とした「大腸がん無料検診クーポン券」の配布がスタートしています。そこで経緯と財源について伺います。

答 国によるがん検診推進事業として実施しているクーポン事業に、大腸がん検診が追加されました。また事業の財源については、2分の1が国庫補助、残りが町の一般会計によるものです。

問 周知について伺います。

答 事業対象者に対して個別にクーポン券を郵送するほか、「広報よりい」12月号に掲載し、周知しました。

ピロリ菌 検査の実施は

問 がんの要因は、喫煙や生活習慣が大きく影響を与えられています。また、がんを引き起こす要因として感染症があり、胃がんはヘリコバクターピロリ菌に感染したことが原因で起こることが分かっています。ピロリ菌に感染しているかどうかは血液検査で調べることができます。そこで大腸がん検診のキットを活用し、ピロリ菌検査を実施する考えについて伺います。

答 特定検診項目の血液検査の中で、可能であるか、今後検討していきたいと考えています。

放射能汚染から 子どもを守る

答弁⇒ 月1回の測定を継続していきます



たもがみ せつこ
田母神節子
議員

問 福島原発事故による放射能は、茨城・埼玉(寄居)へと流れてきました。子どもは大人よりも(幼児5倍、乳児・胎児10倍)汚染されやすいと言われています。放射能から子どもを守ることとは大人の責任であり、急務です。各学校に放射線量測定器を設置し、保護者に公表する考えはありますか。

答 教育委員会で月1回測定しています。今後も継続的に測定し、結果を町のホームページに掲載する、保護者に配布するという現体制を継続していきます。測定器設置の考えはありません。

問 保護者に正確な情報を伝え、不安を取り除く対策や放射能汚染問題等の学習については。

答 今のところ学習を行う考えはありません。

学校給食の現状は

問 学校給食においては現状を明らかにし、安全な食材を確保すること。また、センター内に測定器を設置する考えはありますか。

答 地産地消を基本に、国・県の検査結果の発表を注視しながら、情報収集や産地を確認し、安全実施に努めます。センターに測定器を設置する考えはありません。

問 子どもを放射性物質が集まりやすい場所に近づけないこと。また、測定器を保護者にも貸し出す考えはありますか。

答 公共施設等を測定した結果、基準値以内でした。今後も必要に応じ測定します。測定器は学校へ貸し出しますが、その他については今後検討します。

放射線量測定器

無料がん検診クーポン券